

本時のねらい

○「あきのいきもの」の写真を活用して、【いきものずかん】にまとめる資料をつくる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ロイノートを活用して、1年間の生活科の学習を【いきものずかん】にまとめ、情報活用能力を育成する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型提示装置 ・ロイノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時の復習をする。 ○本時のめあてを確認する。 めあて「あきのいきものずかんをつくろう。」 ○これまでの学習（春・夏）を振り返る 【写真1】 （見つけたものや場所・気づいたこと）	○これまでの活動内容を記録していたデータを使ってこれまでの学習の振り返りをする。
展開 (35分)	○見つけた秋の生き物の写真をシートに入れる。 （例：さつまいも・どんぐり・松ぼっくりなど） ○見つけた場所や気づいたことを記入する。【写真2】 （場所：中庭・校庭など 気づいたこと：かたい、音が鳴る）	○自分が撮影した写真の数に合わせて、シートを複製する。 ○写真を適切な大きさに調整する。 ○児童が自ら選んだ入力方法で入力させる。 （タイピング、指、タッチペン）
まとめ (5分)	○今回作成したものをロイノート上の「いきものずかん」に入れる。 ○全体で発表し、交流する。【写真3】 （春夏と比べて、ちがいなどに注目して発表）	○これまでに作成した「いきものずかん」の他の季節（春・夏）を振り返りながら、今回作成したものを追加する。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】これまでの学習（春・夏）を振り返り、今回撮影した秋の写真を確認している場面



【写真2】秋の生き物の写真を挿入したり、場所や気づいたことを記入したりしている場面



【写真3】これまで作成してきた「いきものずかん」に、まとめている場面

児童生徒の反応や変容

- ・枠の決まったシートに、自分が使いたい画像を挿入する作業において、必要なサイズに調整するなど1つのシートにまとめることのおもしろさを感じていた。
- ・自分が考えた図鑑をめざすため、これまでの活動よりもカメラ機能の使い方を工夫したり、自分が伝えたい（気づいた）部分を考えたりする姿も見られた。
- ・たくさんの資料（写真）から好きなものを選んだり、作った複数のシートをつなげたりする作業から、学習意欲をもって取り組んでいる姿があった。
- ・「自分だけの図鑑（オリジナル）をタブレットパソコンでつくる」という目標があるため、次の授業への期待や楽しみを抱きながら学習を進めることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1年を通して生活科の学習のつながりがあることで、作業の見通しをもつことができたり、児童自身の作業効率が向上したりと、成長する過程を見ることができた。
- ・ワークシートだけでなく、カメラ機能などを活用したデータでの成果物は、見栄えも良く、大きな達成感につなげることができる。
- ・四季（春夏秋冬）の4つの項目に分かれるため、シンキングツールが活用しやすく、タブレットパソコンでまとめることの便利さに気づくことができた。
- ・1つのシートに、「調べたもの」「その写真」「場所」「気づいたこと」など視点を明確にすることで、共通の視点をもって学習に取り組むことができた。